

2020年10月30日

各位

会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 郷 史  
 (コード番号:4927 東証第一部)  
 問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長 橋 直 孝  
 (TEL. 03-3563-5517)

### 通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

2020年10月30日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2020年4月28日公表の2020年12月期通期連結業績予想および期末配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2020年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 190,000	百万円 19,000	百万円 16,500	百万円 8,400	円 銭 37.97
今回修正予想(B)	175,000	10,000	8,500	1,200	5.42
増減額(B-A)	△15,000	△9,000	△8,000	△7,200	
増減率(%)	△7.9	△47.4	△48.5	△85.7	
(参考)前期実績 (2019年12月期)	219,920	31,137	30,630	19,694	89.04

#### 2. 2020年12月期 配当予想の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	—	45円00銭	80円00銭
今回修正予想	—	15円00銭	50円00銭
当期実績	35円00銭	—	—
前期実績 (2019年12月期)	35円00銭	81円00銭 (普通配当 45円00銭) (特別配当 36円00銭)	116円00銭 (普通配当 80円00銭) (特別配当 36円00銭)

### 3. 修正の主な理由

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、インバウンド需要の大幅な減少が続いていること、ならびに新しい生活様式における店舗チャネルへのマイナス影響の継続を主な理由に、ポーラブランドをはじめ各ブランドにおける店頭売上が計画を下回る進捗となっております。前回予想においては、第3四半期以降回復傾向が続くことを前提としておりましたが、その回復スピードは当社想定以上に緩やかであり、また依然として先行き不透明な状況が続いております。今後も急速な回復は見通しづらいことから、第4四半期以降も大きく影響が残ることが見込まれます。

営業利益につきましては、売上高の減少見通しに伴う粗利益減少によるものです。

経常利益につきましては、営業利益の減少見通しに加え、為替差損などの見通しについて現状を鑑みて修正しました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の減少見通しに加え、売上高減少に伴うJurliqueブランドに係る固定資産(本社や店舗等の有形・無形固定資産)の減損損失約1,500百万円の計上などによるものです。

また、当社は、「資本効率の向上と株主還元の充実」を経営の重要課題の一つと認識しており、「連結配当性向60%以上を基本とし、安定的な利益成長による株主還元の充実」を利益配分に関する基本方針としております。当期の配当予想につきましては、上記業績予想の修正および基本方針に基づく今後の安定的な株主還元を実現するため、期末配当予想を前回予想に対して30円減額の1株当たり15円に修正することといたしました。この結果、1株当たりの年間配当は普通配当ベースで前期より30円減額の50円となる見通しです。

(注)業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因の変化により、予想数値と異なる可能性があります。

以上